



高橋 総一郎 議員

公共工事契約における「働き方の改善」に向けて

問 働き方改革が叫ばれている
 昨今、社会資本整備の担い手であると同時に地域防災における重要なパートナーである建設業や公共工事請負者において働き方の改革が課題になっており、特に建設業は他の産業に比して「時間外労働・高齢化」が進んでいる、人が足りないから残業する、残業が多いから就業しないという負の連鎖が継続しているのが現状です。今後とも人口減少、高齢化が進めば更に若年労働者が減ってくるわけです。

答 工事余裕期間制度として、発注者（市）があらかじめ設定した全体工期内であれば、受注者は契約日から工事開始期間日までの期間で任意の日を工事開始日とし、工事完了期限日までの期間で任意の日を工事完了日とすることができ、「フレックス工期」を導入することにより、労働環境の是正や生産性の向上が図られると思うが、当市の取り組みをお聞かせください。

答 本市においては、この問題解決のため、国が策定した「建設業働き方改革加速プログラム」を実行すべく、適正な公共工事



の工期設定など長時間労働の是正に取り組んでいます。工期の設定は、算出した工事費をもとに、それぞれの設計積算基準等に基づき、完全週休2日制を考慮した工期を設定し、適正な工事期間の確保に努めています。

また、年度当初の4月から6月の工事閑散期の解消と、施工期間の平準化を図るための取り組みとして、前年度中に前倒しで全発注工事件数の20%位を発注しており、適正な公共工事の工期設定など、長時間労働の是正がなされるよう取り組んでいます。

要望 建設業に限らず、あらゆる産業分野において「働き方の改善」は喫緊の課題です。余裕期間制度「フレックス工期」の導入を検討し、更なる是正に努めていただきたい。



茂原 正秀 議員

高齢者の生活支援として乗合タクシーの利便性の向上を

問 高齢者の生活支援として、車の運転ができない方々の移動支援は非常に重要ですが、現在の富岡市の乗合タクシーは、他の自治体と比べますと利便性が低い状況にあると思えてなりません。

答 新年度は新たなシステムを導入して、利便性を高めるとのことですが、その点について、ご説明ください。

答 新たなシステムは、市内全域におけるデマンド運行を導入します。また、ICTやAI等の技術を活用し、効率的な配車と利便性の向上を目指します。

問 その新しい方法が実際に導入される時期と、利用料金についてお聞かせください。

答 今年の10月以降に試行を開始して、令和3年4月以降に本格導入を開始する予定です。また、利用料金については、均一料金制を導入し、現行より利用しやすい料金設定を考えています。

問 10月以降の試行は、市内の一部地域で行うのでしょうか。市内全域で行うのでしょうか。

答 市内全域で行う予定です。



問 これまでの乗合タクシーは、上信電鉄沿線の地域は利用できませんでしたが、そうした地域も含む市内全域なのでしょうか。

答 そのとおりです。

意見 高齢者の移動困難者対策では、高崎市や甘楽町等の近隣自治体と富岡市のサービスの格差は、年々開くばかりと思える状況です。車の運転ができなくなった高齢者の方々でも、心配なく暮らせるような生活環境を築けないと、今後は若者だけでなく高齢者の人口も流出し、その結果、富岡市の人口減少はさらに加速し、空き家問題などもより深刻になるのではないのでしょうか。

高齢者にとって住みよい富岡市にするため、高齢者の生活支援事業として、この乗合タクシーの抜本的な改革を、積極的に進めていただきたいと思います。